

公益社団法人愛知県医師会 第25回(定例)理事会議事録

開催日時：平成25年11月21日(木) 午後4時10分～午後5時30分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤宣夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 伊藤健一 城 義政

加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 檜尾 富二 樋口俊寛

伊藤富士子 細川秀一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬敬紀

代議員会議長／杉田洋一

代議員会副議長／藤原誠治

欠席者 吉田 貴 松尾清一 額額雅明 大野和美

議事録作成者 横地宏和

※柵木会長離席のため、報告事項10、11は山本副会長が議事を行った。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者21名(うち理事16名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知実行委員会主催のマラソンフェスティバル

ナゴヤ・愛知2014〔H26.3/7(金)～3/9(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(2)公益社団法人 愛知県歯科衛生士会(会長 池山豊子)主催の第4回 県民公開シンポジウム「いつまでも食べる楽しみを支えたい」～“食べる”を支える在宅医療連携を考える～〔H26.3/9(日)〕の後援並びに講師派遣依頼について

市川理事より説明があり、標記シンポジウムの後援及び本会総合政策研究機構の宮治プロジェクト室長を当日の講師として派遣する事が承認された。

(3)日本医工学治療学会第30回学術大会(会長 佐藤元美：社会保険中京病院 腎・透析科)の行う日本医工学治療学会第30回学術大会〔H26.3/21(金)～3/23(日)〕の後援

について

市川理事より説明があり、承認された。

(4) 日本医師会の行う医療事故防止研修会〔H26. 1/19 (日)〕への講師派遣依頼について
市川理事より説明があり、細川理事を当日の講師として派遣する事が承認された。

(5) 平成 25 年度愛知県健康づくり推進協議会健康増進部会構成員の推薦について
市川理事より説明があり、城理事の推薦が承認された。

2. 平成 25 年度 学校保健シンポジウム〔H26. 3/2 (日)〕開催について
(9 階大講堂)

伊藤副会長より説明があり、標記シンポジウムの開催が承認された。

3. 県下医師会予防接種事業担当理事連絡協議会〔12/24 (火)〕開催について
(9 階大講堂)

伊藤副会長より説明があり、標記協議会の開催が承認された。

4. 平成 25 年度補正予算について

可世木理事より、平成 25 年度予算について補正が必要な場合は、12 月 20 日 (金) までに関係書類の提出をするよう依頼され、了承された。

5. 平成 26 年度予算案編成について

可世木理事より、平成 26 年度予算について、各事業の予算案を 12 月 20 日 (金) までに提出をするよう依頼され、了承された。

柵木会長より、新規、廃止、縮小する事業について 12 月中に検討し、1 月の 1、2 回目の理事会で決定したい旨発言された。

6. 健康教育講座〔H25. 12 月～H26. 3 月〕開催について

稲坂理事より説明があり、標記講座の開催が承認された。

7. テレビ番組「健康ワンダフル」〔H25. 12 月～H26. 3 月〕放映について

稲坂理事より説明があり、テレビ番組「健康ワンダフル」の放映が承認された。

8. 病院の認知症対応力向上事業 第 2 回モデル事業企画支援会議〔12/2 (月)〕開催について

(愛知県医師会主催：5 階医師連盟会議室)

伊藤 (健) 理事より説明があり、標記企画支援会議の開催が承認された。

9. 愛知県介護支援専門員実務研修の講師推薦について

樋口理事より説明があり、本会社会福祉専門委員会委員の伊藤光保先生の推薦が

承認された。

—協議事項—

10. 名古屋市立大学病院初診料加算額について

柵木会長より説明があり、標記の件について要望を提出することが承認された。

11. その他

—報告事項—

1. メンタルヘルス対策支援センター業務運営協議会〔11/13(水)〕について
(愛知産業保健推進センター メンタルヘルス対策支援センター主催：中日ビル)
柵木会長より、愛知産業保健推進センターのメンタルヘルス事業の取り組みについて、事業規模が縮小傾向である等の状況説明があったと報告された。
2. 環境省エコチル調査国際シンポジウム in 名古屋〔11/15(金)〕について
(環境省主催：ミッドランドホール)
柵木会長より、環境省の行う調査で、10万人の妊婦に対し中学3年生までの13年間の追跡調査。環境がどう子どもに影響を与えるかという趣旨の調査であり、日本ほど大規模な調査ではないが、アメリカ、ドイツ、中国上海でも同様の調査を実施していて、国際的に内容を統一して母数を上げていく予定であると説明された。
3. 平成25年度中部医師会連合委員総会〔11/16(土)・17(日)〕について
(中部医師会連合主催：岐阜都ホテル)
柵木会長より、社会保険、介護保険、医療政策特別委員会の報告があったと報告された。
樋口理事より、介護保険特別委員会では、在宅地域包括センターを中心に行っているが、高齢化のケアは医療から介護、病院施設から介護施設へという流れで地域医師会、市町村にて多職種連携を様々な見直しをしながら行っていくという報告であったと報告された。
加藤理事より、医療政策特別委員会では、かかりつけ医と総合診療専門医の位置付け、また、総合診療科が新たに標榜科目となった際の医師会の関わり方についての議論があり、総括にて日医石川常任理事より医学部新設についての話があったと報告された。
4. 日医理事会〔11/19(火)〕について
(日本医師会主催：日本医師会館)
柵木会長より、理事打合会にて愛知県より消費税について、三重県より国保連合会の審査支払業務の基金への移管・統合についての議題が提出され、また、理事会では理事会速報の内容にて議論されたと報告された。
5. 第2回都道府県医師会長協議会〔11/19(火)〕について
(日本医師会主催：日本医師会館)
山本副会長より、協議題である「日本医師会医師賠償責任保険について」、「有床診療所の防火対策と対応について」、「選挙管理委員会に望む事」の協議内容について報告され、また、「小児Aiモデル事業について」、「地域医療支援センター及び医療勤務環境改善支援センター事業について」配付資料に基づき報告された。

6. 支払基金幹事会〔11/13(水)〕について
(支払基金主催：支払基金)
伊藤副会長より、支払基金と国保連合会の統合の問題について支払基金側からの意見を元に議論されたと報告された。
7. 平成 25 年度第 3 回愛知県医療審議会医療法人部会〔11/15(金)〕について
(愛知県主催：愛知県自治センター)
伊藤副会長より、社会医療法人の認定については了承され、医療法人の設立については 1 件保留で、その他は全て認められたと報告された。
8. 愛知県予防接種広域化ワーキング会議〔11/18(月)〕について
(愛知県主催：6 階研修室)
県下医師会長等協議会にて報告されたので割愛。
9. 第 60 回日本学校保健学会〔11/16(土)〕について
(日本学校保健学会：聖心女子大学)
稲坂理事より、講師として愛知県の取り組み、校医についての話をしたと報告された。
10. 平成 25 年度愛知県安心安全な妊娠出産推進委員会〔11/12(火)〕について
(愛知県主催：愛知県自治センター)
可世木理事より、愛知県母子保健運営協議会の専門委員会。助産師会の行っている電話による健康相談の報告があった。平成 24 年度開始の妊娠届時のアンケートによる新生児虐待ハイリスクグループ抽出と医療機関・保健機関の連携による虐待予防は今後成果が期待される。健やかな妊娠等サポート事業としての県民の意識調査(3 年計画)が開始されたと報告された。
11. 平成 25 年度愛知県表彰条例による表彰受賞者について
市川理事より、県表彰に山本楯先生(保健医療功劳)、岡田守功先生(公共安全功劳)、県教育表彰に後藤典先生(学校保健功劳)が受賞され、表彰式は、11 月 22 日(金)に県庁本庁舎にて行われると報告された。
12. 平成 25 年度全国医師会勤務医部会連絡協議会〔11/9(土)〕について
(日本医師会主催・岡山県医師会担当：
ホテルグランヴィア岡山 4 階「フェニックス」)
伊藤(健)理事より、日医主催の全国医師会勤務医部会連絡協議会が岡山県で「勤務医の実態とその環境改善—全医師の協働にむけて」をメインテーマに開催され、岡山宣言が提出されたと報告された。
柵木会長より、岡山宣言の「労働基準法を遵守できる医師の勤務体制の整備」について発言された。

- 1 3. 病院の認知症対応力向上事業 第1回 モデル事業企画支援会議〔11/11(月)〕について
(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)
伊藤(健)理事より、認知症対応力向上研修の各日程の役割分担と進行説明、認知症対応病院モデル事業の今後の実地指導スケジュールについて確認した。また、次年度の候補モデル病院については社会福祉専門委員会、県下医師会長等協議会の中で周知、公募を行う事で了承を得たと報告された。
- 1 4. 平成25年度都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会〔11/13(水)〕について
(日本医師会主催：日本医師会館)
伊藤(健)理事より、福岡診療所火災の問題に議論が集中した。火災報知器は一般家庭でも設置義務化されているので福祉の建屋は当然のこと、夜間の宿泊施設にも設置が必要である。またフロアから消防へ直接連絡の届く設備が必要だとの意見もあった。有床診は夜間に人の配置義務がないが、福祉系にはありこの問題も指摘された。またスプリンクラー設置が義務となれば半数が閉鎖に追い込まれ、地域医療が崩壊するので、補助を求める声が上がったと報告された。
- 1 5. 平成25年度 第2回 病院事務職員のための教育ワークショップ〔11/16(土)〕について
(愛知県医師会・愛知県主催：8階会議室)
伊藤(健)理事より、受講者32名(病院事務職員)を対象に、「報・連・相」「経営分析【初級】」をテーマに研修を行い、ファシリテーター役に愛知県と本会会長名で認定証を配付したと報告された。
- 1 6. 難病・慢性疾患全国フォーラム2013〔11/9(土)〕、全国難病センター研究会第20回研究大会〔11/10(日)〕について
(難病・慢性疾患全国フォーラム2013 実行委員会主催：JA 共済ホール カンファレンスホール、全国難病センター研究会主催：ファイザー株式会社本社)
大輪理事より、難病・慢性疾患全国フォーラムには、患者や家族、関係者ら約400人、全国難病センター研究会は約100名が参加された。フォーラムでは厚生労働省より、難病対策の法制化の概要について説明。会場より、医療費助成の対象疾患が大幅に拡大されるが、現状に比べ自己負担額が増加すること等に不安の声が相次いだ。翌日の研究大会では、支援センターのネットワーク化、就労支援等について報告され、活発な質疑応答があったと報告された。
- 1 7. 名古屋医療センター 地域医療支援病院運営委員会〔11/13(水)〕について
(名古屋医療センター主催：名古屋医療センター)
大輪理事より、一日平均入院患者数(576人)は減少したが、外来一日平均患者数(1,350人)及び紹介率(75.2%)・逆紹介率(60.4%)は、前年度に比べ増加改善傾向で

ある。金鯨メディネットのウェブ予約は19時まで延長し、予約可能な診療科も22まで拡大。今後ウェブ予約だけでなく、連携室の時間も延長する予定。救急に関して、救急車の件数(3,219件)は前年度比で200件減少したと報告された。

18. 産業医研修会〔11/12(火)・11/15(金)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

西山理事より、11月12日(火)は、121名、11月15日(金)は、40名の出席があったと報告された。

19. 保険医療機関の自主指導〔11/10(日)〕について

檜尾理事より、保険医療機関の自主指導を11月10日(日)に行ったと報告された。

20. 女性医師支援センター事業中部ブロック会議〔11/17(日)〕について

(岐阜県医師会主催：岐阜都ホテル)

伊藤(富)理事より、式次第に沿って、日本医師会及び各県医師会から報告が行われた後、それに基づいた協議・意見交換が活発に行われた。来年度については、福井県医師会が担当となって開催されることが了承された。また、平成26年2月21日(金)に日本医師会館で開催される「女性医師支援事業連絡協議会」の報告担当県について、中部ブロックの代表は、今年度本会議を担当した岐阜県医師会が務めることになったと報告された。

21. 第9回 日本医師会 医療安全対策委員会〔11/7(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

細川理事より、「成果が見える医療安全を目指して」について検討した。また、平成26年1月19日(日)には「医療事故防止研修会」を開催すると報告された。

22. 各種委員会・部会について

A) 死因究明システム運営委員会〔11/11(月)〕について

(愛知県医師会主催：804会議室)

細川理事より、システム利用の依頼がないため、愛知県の補助金要綱に基づいて、医療安全対策委員会に報告された案件について、シミュレーションで死因究明を行うことにしたと報告された。

23. その他

—話題提供—

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成25年11月21日